

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき、厚くお礼申し上げます。2021年の「よこしんレポート」をお届けします。

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞や、海外の都市封鎖等の影響による輸出の大幅な減少などにより急速に悪化しました。地域経済も大きなダメージを受ける中、当金庫は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の資金繰り支援に努めました。資金繰り支援が一巡した8月には「地域応援特別チーム」を設置し、ポストコロナを見据えた本業支援に取り組む体制を強化しました。

こうした中、当金庫では令和3年4月より新たな中期経営計画（3カ年）をスタートさせました。本計画では、内外の環境や課題を踏まえて、「地域の成長と発展に貢献する総合サービス業への進化」をビジョンに掲げています。「お客さま価値を最大化する営業活動」に向けて、経営資源の再配分、営業体制の再構築、人財・組織力の強化を図ります。そして、従来からの金融仲介機能の発揮にとどまらず、これまで取り組んできたお客さまの価値向上につながる取組みを更に広く深く追及し、これまで以上に地域の成長と発展に貢献できるよう努めてまいります。

当金庫は、令和5年7月に創立100周年を迎えます。新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越え、これからも地域から必要とされる金融機関であり続けられるよう全力を尽くしてまいります。

皆さまのより一層のご支援をいただければ幸いです。



令和3年6月
理事長 大前 茂

基本方針

- 1 私たちは、社会的責任と公共的使命を常に自覚し、健全な業務運営を通じ信頼の確立に努める。
- 2 私たちは、日々の業務を通じ地域社会の発展に貢献する。
- 3 私たちは、顧客、会員に常に感謝し、真に地域社会に親しまれる金庫を造る。
- 4 私たちは、法令及びルールを遵守し、社会的規範に反することのない誠実かつ公正な業務運営の遂行に努める。
- 5 私たちは、互いに相和し、働きがいのある明るい職場を作る。

プロフィール

(令和3年3月31日現在)

創 業 —— 大正12年(1923年)7月19日
出 資 金 —— 1,772百万円
預金積金 —— 2,012,135百万円
貸 出 金 —— 1,137,854百万円
役職員数 —— 1,282人
本 店 —— 〒231-8466 横浜市中区尾上町2-16-1
電話 045-651-1451 (代表)
店 舗 数 —— 61店舗
営業地区 —— 神奈川県 横浜市/川崎市/横須賀市/鎌倉市/藤沢市/
茅ヶ崎市/逗子市/三浦市/相模原市/厚木市/大和市/
海老名市/座間市/綾瀬市/三浦郡/高座郡/
愛甲郡愛川町
東京都 大田区/町田市

シンボルマーク

横浜信用金庫の「Y」を囲む「地域社会」「顧客と会員」「役職員とその家族」を3本の輪で表わしています。互いに相和し、強い絆で結ばれ、地域金融機関として限りなき前進を図っていききたいという願いが込められています。

